

豆田町並み通信

第62号

発行者
豆田町伝
建保存会
27年9月

新たな十年をめざして 千年あかり企画を協議！

千
年
あ
か
り
員
会
委
行
実
会

八月二十六日(木)第二回実行委員会が開催され、竹の伐採作業を九月六日(予備日九月十三日)と九月二十七日、更には十月四日(予備日十月十一日)の三回に分けて行う事や、十月五日以降竹の玉切りや和紙貼り作業を行う事が協議・了承されました。

また、昨年開催した日田市市内五校の高校生の「シンポジウム」成果を継続して行く為に、十月十二日(予定)に「高校生による意見交換会」を開催する事も検討されました。



今年度の事業計画について協議した
第2回実行委員会

本年度作業場を点検

雨となった九月六日(日)、実行委員会では竹伐採作業を中止して、本年度の作業場となった亀山町の旧木工所跡の建物に、マル鋸等の千年あかり関連の資材類を移動すると共に、竹の置き場、和紙貼りの場所などの点検を行いました。

なお九月二十七日に、第二回目の伐採作業を行う予定であり、参加希望者は ☎09011942949 園田まで連絡をお願いしますとの事です。



マル鋸などの資材を作業場運び込む実行委員

平成二十七年 第一回 日田市町並み保存審議会開催

本年度の第一回の「日田市町並み保存審議会」が八月二十七日(木)日田市埋蔵文化財センターにて開催されました。

審議会では、最初に建築物の指定物件である小倉家長屋について、その特定範囲を一部変更する事、環境物件である旧船津歯科医院の松が枯損状態にある為(樹木医の所見添付)除却する事が提案され、承認されました。

続いて、本年度の追加修理物件となる佐藤家長屋住宅東面の修理方針について車庫の機能を確保しながら、同時に復原する為の案(サッシ部分に木製建具と框を入れる方式)が提案されましたが、技術的面で課題が議論され、専門部会へ一任することで承認されました。



審議会では他に、屋外消火栓の設置や放送設備の整備、公開活用事業で行なう「れんが塀」の修理などが審議されました。

平成二十七年 度修理事業進む

平成二十七年の事業である薫長酒造の穀蔵と長福寺鐘樓の修理工事が七月より着工され、又平成二十五年より進められてきた旧船津歯科も、平成二十八年四月の供用開始を目指して工事が進められています。



屋根瓦の葺き替え工事も
終了した薫長酒造穀蔵の
修理現場



屋根瓦を取り外し、部材
の傷み具合を点検、修理
が進む長福寺の鐘樓



外観工事が終了し、
工事用覆いが取れた旧船津歯科

天領まつり説明会開催!

九月七日(月)市役所にて天領まつりに関する説明会が開催され、豆田地区振興協議会十四町の自治会長が参加しました。

市観光課より本年のコンセプトは「日本遺産認定・天領ひたの歴史・文化の祭典」とする事し、江戸衣装や町人衣装で観光客をお出迎えしたいので、地元の協力をお願いしたい旨の説明がありました。

自治会長からは天領まつり最大のイベントである時代行列募集や屋台出店の手続きについて質問が出されました。

又、同席した千年あかりの財津忠幸実行委員長から、「まつり作業に協力」の願いがあり、竹伐りや和紙貼り作業の工程が説明され、協力して行く事となりました。



天領まつり説明会に参加し、協議する自治会長

無病息災願ってえん魔様まつり!

恒例の「えん魔様まつり」が八月十六日(日)丸の内の大超寺で行なわれました。この日はお盆休みの最後の日とあって帰省客や地域の方が多数参加しました。

本堂では首藤泰爾住職が打ち鳴らす鉦に合わせて「百万偏大数珠」の供養行事が行われ、参拝者は先祖供養と無病息災を祈っていました。

境内では檀家有志の「明照会」が主催するめだかすくいなどの屋台が並び、子供の歓声が響いていました。



年1度の御開帳となる地獄・極楽絵図の説明を行う首藤住職と聞き入る参拝者



境内では「明照会」主催のたこ焼き等の屋台が並び、子供達はメダカすくいに夢中

夏祭り各町で!

八月八日(土)、月隈公園駐車場、八月二十二日(土)、中城町駐車場や三本松商工会館前広場で、丸山町や中城町、三本松の夏まつりが開催され、会場内では生ビールや焼きそばやかき氷の屋台が並び、特設舞台上は楽器の演奏やゲーム大会、カラオケ大会などが行なわれ、お年寄りから子供達まで夏の夜を楽しみました。



かき氷早食い大会に参加した子供達(丸山町月隈夏まつり)



町民総参加のおどり大会の様子(中城町夏まつり)

二十七年祇園祭の点描



八阪神社前に勢ぞろいした豆田地区4基の山鉾。左より豆田下町、中城町、豆田上町、港町



- ① 御神幸でのお祓い行事
- ② 駅前での集団顔見世行事
- ③ 中城お旅所に集結した山鉾

